

東北電力グループ中期経営方針（2017～2020年度）〈概要版〉

I. はじめに

東北電力グループは、「東北の繁栄なくして当社の発展なし」との基本的な考え方のもと、豊かな暮らしに必要な電気をお客さまにお届けし、地域とともに成長してまいりました。

電力システム改革の進展などエネルギー事業を取り巻く環境は激動の只中にありますが、東北電力グループが、復興の道半ばにある地域とともに持続的に成長していくための道しるべとして、このたび、「東北電力グループ中期経営方針(2017～2020年度)」を策定しました。

今後、本方針のもと、グループ一体となって、新たな事業機会を積極的に評価し、さらなる成長へ挑戦していくことを通じ、お客さまや地域社会のご期待にお応えしてまいります。

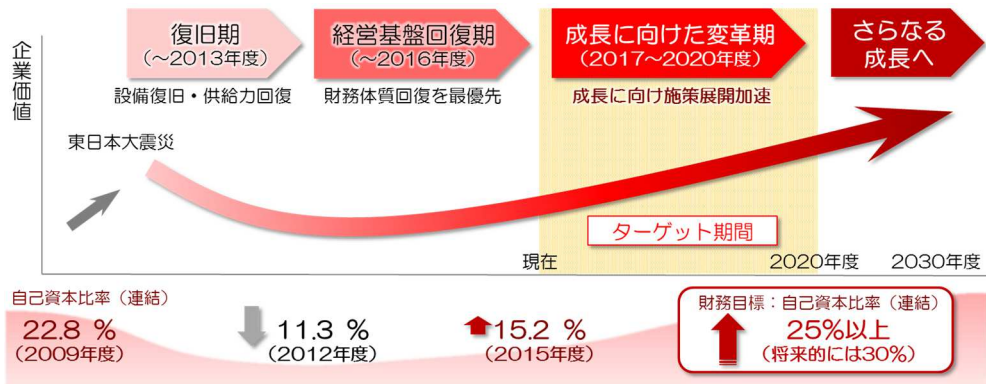
II. 成長ストーリー

東北電力グループは、これまで、東日本大震災によって大きく傷ついた経営基盤の回復に努めてまいりました。

新たな中期経営方針においては、そのターゲット期間を「成長に向けた変革期」と位置づけ、将来、成長が見込まれる、東北・新潟域外での電力販売(卸売含む)も含めた電気事業、海外事業、ガス事業において、定量目標を設定しました。

財務目標の確実な達成とともに、将来の成長に向けた事業展開や投資を通じて、一層の企業価値の向上に努めてまいります。

(i) 財務目標と成長の達成



(ii) 定量目標の設定



III. 基本姿勢と“3つの力点”

以下の「基本姿勢」のもと、3つの力点に基づき、施策展開を加速してまいります。

将来の成長に向け、今回、定量目標を設定した電気事業、海外事業、ガス事業に加え、新たに設立を検討しているトレーディング新会社を中心としたトレーディング事業においても収益力の強化を図ってまいります。また、将来の事業領域拡大を見据え、IoTイノベーション推進体制を整備します。

引き続き、お客さまに低廉で安定した電気をお届けするとともに、原子力発電については、より高いレベルの安全性確保に向けて、自主的かつ継続的な取り組みを進めます。また、地域の復興・発展への貢献策として、新たに、「東北・新潟の活性化プログラム」を創設します。

これらの施策を支えるため、財務目標を確実に達成するほか、競争に立ち向かう組織への変革を成し遂げてまいります。

【基本姿勢】 変化をチャンスに さらなる成長へ挑戦する 東北電力グループ

力点1 お客さま・地域社会の声にお応えする

- | | |
|--------------------------|--|
| (1) お客さまのニーズにお応えする提案活動 | ・ヒートポンプの普及拡大による電化推進とトータルエネルギーソリューションの拡充
・新料金プランやセットプランの開始、「よりそうeねっと」のサービス拡充 |
| (2) 原子力発電所の安全性向上に向けた取り組み | ・安全性向上に向けた自主的かつ継続的な取り組み |
| (3) 最適な電源構成によるコスト競争力の強化 | ・能代3号、上越1号の開発と経年火力のリプレースや休廃止の検討 |
| (4) 低炭素社会の実現 | ・CO2排出削減に向けた需給両面からの取り組みと熱効率向上の追求 |
| (5) 送配電事業における安定供給と効率化 | ・安定供給の確保と新技術の採用等による効率化の推進 |
| (6) 地域の復興・発展への貢献 | ・「東北・新潟の活性化応援プログラム」などの創設 |

力点2 成長に向けた新たな事業機会を追求する

- | | |
|-----------------------------|-----------------------------------|
| (1) 東北・新潟域外での電力販売 | ・卸売も含む域外での電力販売 |
| (2) 海外事業の拡大 | ・北・中米および東南アジアにおける発電事業の拡大 |
| (3) ガス事業の強化 | ・ガス販路拡大と電気とのトータルエネルギーソリューションの拡充 |
| (4) 電力・燃料のトレーディング事業の展開 | ・トレーディング新会社の設立検討 |
| (5) 再生可能エネルギー事業の推進 | ・水力や地熱、大型風力発電の開発推進、水素の利活用による普及拡大 |
| (6) 将来の事業領域拡大に向けたイノベーションの追求 | ・IoTイノベーション推進体制整備とオープンイノベーション活用検討 |

力点3 変革実現により強固な経営基盤を確立する

- | | |
|--------------------|---|
| (1) 財務体質のさらなる改善 | ・財務目標[自己資本比率(連結)を2020年度までに25%以上(将来的には30%)]の達成 |
| (2) 競争に立ち向かう組織への変革 | ・送配電部門の分社化と分社化に先行したカンパニー制の導入 |
| (3) 多様な人材の活躍推進 | ・専門スキルを持った人材等の獲得・育成と多様な人材の活用推進 |
| (4) CSRの着実な取り組み | ・「東北電力グループCSR方針」と「東北電力グループ行動指針」の策定 |